

第 1 回御嵩町産業廃棄物処分場計画地利用指針検討委員会議事録要旨

1. 日時

平成 20 年 8 月 29 日（金）14:30～16:20

2. 場所

御嵩町役場北庁舎 3 階大会議室

3. 内容

(1)あいさつ（渡辺御嵩町長）

(2)委員の紹介

(3)議事

議事 1 委員長の選出、副委員長の指名

委員長を鈴木委員、副委員長は守富委員に決定

議事 2 計画地の過去の経緯について

議事 3 御嵩町全体の現況と計画地の現状について

議題 4 今後のスケジュール、進め方について

4. 計画地に対する主な意見

- ・人が森に手を加えて間伐して、人が入りやすい森にしていく必要がある。間伐したものをいかに搬出していくかが、山を手入れしていく中でキーワードとなる。この場所が起爆剤となって、御嵩町の森林が 100%の機能を発揮できるようになるといいと思う。
- ・200ヘクタールは非常に広い森であると思う。「癒しの森」として、みんなが集まってこれる場所になればと思う。
- ・現実問題として、200ヘクタールの広大な土地を利用するうえで、自然との共生は不可欠であるが、継続的に利用していくためには経済的な面も視野に入れた利用方法を検討する必要があると思う。
- ・計画地に沿って新しい道が八百津町の丸山ダムに抜けている。計画地で桜を植えて、この道を通る人に、「桜の園」のイメージを持ってもらうような取組ができれば、とっても素敵な場所になる。
- ・急傾斜地であるので、公園にするには安全面で問題のある地域である。地の利を活かせるような方向に持っていけないのか。施設、公園等を考えるなら改造しないとできない。
- ・演習林など大学生や地元の人が木を学べる場所になったらいいと思う。みんなが学べる場所になったらよい。
- ・緑化を一つのキーワードとして進めるとともに、新エネルギー関係の学習施設があってもよいと思う。ただし、最後には、経済的な問題が必ず残るので、そこを念頭におかなければいけない。
- ・計画地そのものに、今後、手を加えていくとなると御嵩町民、御嵩町内の企業、行政だけでは当然難しいという部分もあるし、非常に幅広い背景のある土地であるので、いろいろなアイディア、情報をもって、方向性やその方法について議論を深めていきたい。

5. その他

検討委員会としても、積極的に町民に対し、指針を検討するための意見がいただけるように、広報、インターネット、ホームページなどあらゆる媒体を使って呼びかけていくこととなった。